

令和2年度事業報告書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

一般財団法人 新技術振興渡辺記念会

一般財団法人 新技術振興渡辺記念会

令和2年度 事業報告書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

I. 概況

令和2年度事業については、事業計画に則り公益目的事業と収益目的事業(貸貸事業)を実施した。公益目的事業については、科学技術に関する調査研究とその助成、国際交流に対する援助、新技術の振興に業績を挙げた者に対する表彰並びにこれ等の普及・啓発に関する各事業を実施した。

財団の主たる事業である助成事業等については、科学技術に関する調査研究(自主事業)3課題、科学技術に関する調査研究の助成27課題、科学技術に関する国際交流への援助2課題並びに新技術の振興に業績を挙げた者に対する表彰及び科学技術振興のための普及・啓発事業を実施した。

また、財団広報誌の発行、ホームページ等により財団業務の知名度アップに努めた。なお、これらの事業推進の一助として貸貸事業を行った。

II. 事業内容

1. 科学技術に関する調査研究の実施(自主事業)

- 1) オーラルヒストリーによる日本原子力政策史(続編)の刊行
- 2) 線状降水帯等による集中豪雨(極端気象)災害の低減可能性に関する調査研究
- 3) 地政学リスクの変化がわが国の産業構造と科学技術へ及ぼす影響に関する調査研究

以上の調査研究費の総額は17,309千円となった。

(課題内容は別表—1参照)

2. 科学技術に関する調査研究の助成

調査研究助成は、令和2年度上期15課題(応募総数23課題)、下期12課題(応募総数15課題)に対し総額44,702千円の助成を行った。

(助成課題は別表—2参照)

3. 科学技術に関する国際交流への援助

- 1) 国際集会の参加に対する援助
 - ① 第31回核融合技術シンポジウム
- 2) 国際集会の開催に対する援助
 - ① 第8回アジア結晶成長結晶技術国際会議

以上の科学技術に関する国際交流に対し160千円の援助を行った。

(援助の態様等は別表—3参照)

4. 科学技術振興のための普及・啓発の推進

科学技術映像祭へ主催者として参加する等、科学技術推進・協賛事業及び研究奨励金等、総額7,705千円の支出を行った。

(行事の内容等は別表—4参照)

5. 収益(賃貸)事業

財団が所有している浜松町NHビル(地上8階、地下1階)及び同ビル別館(地上5階)の賃貸事業を行った。

浜松町NHビル (賃貸 6テナント・8フロア)

浜松町NHビル別館(賃貸 5テナント・5フロア)

6. その他

1) 広報誌「新技術振興渡辺記念会だより」第5号を令和2年7月に、第6号を令和3年1月に発行した。

2) 財団のホームページを、新規トピックスの掲載等により継続的に更新した。

Ⅲ. 評議員会の開催

(1) 第13回評議員会

開催日時 令和2年6月26日(金) 12:40~14:30

開催場所 TKP 浜松町 カンファレンスセンター カンファレンスルーム5A
(東京都港区浜松町1-26-1)

議決事項 1) 令和元年度決算報告書(案)の承認について
2) 役員(監事1名)の選任について

Ⅳ. 理事会の開催

(1) 第34回理事会

開催日時 令和2年6月10日(水) 14:00~15:55

開催場所 財団会議室(東京都港区浜松町1-25-13 浜松町NHビル5階)

議決事項 1) 令和元年度事業報告書(案)、令和元年度決算報告書(案)及び
令和元年度公益目的支出計画実施報告書(案)の承認について
2) 役員(監事1名)の候補者(案)について
3) 第13回評議員会の招集の決定について

(2) 第35回理事会(臨時)

開催日時 令和2年9月25日(金)

開催場所 書面審議

議決事項 1) 令和2年度科学技術調査研究助成課題(下期)の採択及び助成
金額の決定について

(3) 第36回理事会（臨時）

開催日時 令和3年3月10日（水） 11:00～11:20

開催場所 財団会議室（東京都港区浜松町1-25-13 浜松町NHビル5階）

議事事項 1) 新理事長（代表理事）の選定について

(4) 第37回理事会

開催日時 令和3年3月30日（火） 14:00～15:40

開催場所 TKP 浜松町 カンファレンスセンター カンファレンスルーム5A
（東京都港区浜松町1-26-1）

議事事項 1) 令和3年度事業計画書（案）について

2) 令和3年度予算書（案）について

3) 令和3年度科学技術調査研究助成課題（上期）の採択及び助成金額の決定について

V. 科学技術振興課題審査委員会の開催

(1) 第19回科学技術振興課題審査委員会

開催日時 令和2年9月9日（水） 13:00～15:00

開催場所 オンライン会議により開催

議事事項 令和2年度下期科学技術調査研究助成課題の選考について

(2) 第20回科学技術振興課題審査委員会

開催日時 令和3年3月10日（水） 13:00～15:00

開催場所 オンライン会議により開催

議事事項 令和3年度上期科学技術調査研究助成課題の選考について

VI. 資産運用委員会の開催

第11回資産運用委員会

開催日時 令和2年12月24日（木）

開催場所 書面審議

議事事項 1) 令和元年度の決算と正味財産について

2) 令和2年11月末における有価証券運用状況について

3) アセットアロケーションについて

VII. 評議員選定委員会の開催

第5回評議員選定委員会

開催日時 令和2年5月11日（月）

開催場所 書面審議

議事事項 1) 評議員の選定について

VIII. 科学技術調査研究助成課題の成果報告会

1) 平成30年度下期科学技術調査研究助成課題成果報告会（中止）

令和2年4月22日（緊急事態宣言発出期間中）に開催を予定していた平成30年度下期助成課題成果報告会は、コロナウイルスをとりまく状況にかんがみ開催を中止した。なお、平成30年度下期助成課題「成果報告概要集」を令和2年4月に発行した。

2) 平成31年度(2019年度)上期科学技術調査研究助成課題成果報告会（延期）

通常は10月頃に開催する成果報告会は、コロナウイルスをとりまく状況にかんがみ開催を次年度に延期した。なお、平成31年度(2019年度)上期助成課題「成果報告概要集」を令和2年10月に発行した。

IX. 「科学技術映像祭」への主催者としての参加

科学技術を正確にわかりやすく伝える優れた映像を選奨することにより、科学技術への関心を喚起するとともに、その普及と向上をはかり、社会一般の科学技術教養の向上に資することを目的とする「科学技術映像祭」を他の3団体とともに主催している。

他の主催団体は、(公財)日本科学技術振興財団、(公社)映像文化製作者連盟、(公財)つくば科学万博記念財団である。

第61回科学技術映像祭は、4月17日に内閣総理大臣賞ほか13の賞の授与式が予定されていたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出に伴い中止となり、各賞の贈呈は個別に行われた。

また、12月から1月にかけて第62回科学技術映像祭の募集が行われ、34機関、65件の応募があり、審査の結果、内閣総理大臣賞ほか13件が決定された。

X. 評議員、役員

令和3年3月31日現在

評 議 員	役 員
岡 田 雅 年	理事長 高 木 喜一郎
臼 井 勲	理 事 太 田 充 代
鍵 山 真由美	同 木 村 茂 行
金 原 和 夫	同 児 玉 柳太郎
島 田 博 文	同 佐 藤 征 夫
永 野 博	同 高 園 武 治
平 澤 洽	同 中 西 友 子
村 田 朋 美	同 藤 岡 宏 衛
村 野 和 雄	監 事 片 山 康 祥
森 口 泰 孝	同 坂 田 東 一

※武安義光前理事長 令和3年2月28日逝去、高木喜一郎新理事長
令和3年3月10日就任

令和2年度科学技術調査研究、調査研究助成、援助等に関する一覧

別表-1 科学技術調査研究の実施（自主事業）

交付番号	課題名	内容	実施機関等
R-R2-124	オーラルヒストリーによる日本原子力政策史（続編）	科学技術政策史の取りまとめの一環として原子力分野を取り上げ、平成24年にオーラルヒストリーの形式により「オーラルヒストリーによる日本原子力政策史 伊原義徳」を刊行した。それに引き続く続編として、以降平成23年の福島第1原子力発電所事故までの期間を「オーラルヒストリーによる日本原子力政策史（続編）」として取りまとめた。	(一財)新技術振興渡辺記念会
R-R2-125	線状降水帯等による集中豪雨（極端気象）災害の低減可能性に関する調査研究	近年、台風や局所的豪雨などの異常気象による水害など、極端な気象による災害が過酷になっている。この状況を踏まえて、地域の自治体の枠を超えた共通の危機管理上の課題として、都道府県・基礎自治体の防災・危機管理部門の職員、及び防災に関して研究する大学等の研究機関の研究者など、関係者が保有する最新の技術的知見や経験、さらに多くの自治体やそこに存在する民間企業がこれまでに経験した災害の教訓から学び、ノウハウ、災害情報などを集約し、防災・減災対策に向けた研究開発課題を抽出し、対策を検討、取りまとめる。	(公財)全日本科学技術協会
R-R2-126	地政学リスクの変化がわが国の産業構造と科学技術へ及ぼす影響に関する調査研究	近年の中国の台頭とそれに伴う米中関係の変容が及ぼす世界への影響が極めて大きくなるなか、世界の政治・経済の枠組みは大きく変わりつつあり、この状況は、サプライチェーンや産業構造に世界規模で影響を及ぼし、「ハイテク路線・デジタル変革の加速」という新たな枠組みへの動きと無関係ではなく、米中関係以外に欧州を含めた地球規模での地政学的リスクの変化という視点で捉えるべきものである。 このような現状を踏まえて、主として米中両	(一社)科学技術と経済の会

		国の政策動向を調査分析するとともに、欧州等の動向を勘案して、わが国の政府、学界、産業界の対応実態につき調査を行い、対応すべき課題を抽出し、将来に向けた展望を行う。	
--	--	---	--

別表-2 科学技術調査研究の助成

交付番号	調査研究課題名	申請者所属機関
S-R2-509	人工知能技術による学術研究促進に資する政策設計に関する国際比較研究	東京大学 未来ビジョン研究センター
S-R2-510	データサイエンス分野の行動規範策定のための調査研究	横浜市立大学
S-R2-511	熱電発電の技術ロードマップ作成に関する調査研究	東京大学 大学院工学系研究科
S-R2-512	公的研究資金配分を介した社会技術研究プロジェクトのあり方に関する調査研究	京都大学 iPS 細胞研究所
S-R2-513	下肢切断者の QOL に寄与する義足の技術開発ならびに義足治療の発展とその有効性の解明	東京大学 医学部附属病院
S-R2-514	ビッグデータの基盤構築と政策形成への適用可能性ー子どもの健康情報を事例にー	京都大学 学際融合教育研究推進センター
S-R2-515	科学技術イノベーション創発促進のための指標開発～研究の学際性を軸として～	東北大学
S-R2-516	スポーツ障害予防研究への人工知能導入に関する調査研究	東京大学 スポーツ先端科学研究拠点
S-R2-517	「最先端研究」と「社会との共創的研究」の両立や好循環に関する調査研究	大阪大学
S-R2-518	様々な革新的技術・イノベーションの社会受容性に関する調査研究	文部科学省 科学技術・学術政策研究所
S-R2-519	科学と市民社会の応答を基礎とした市民討議手法の開発ー脱炭素トランジションの促進ー	(一社)環境政策対話研究所
S-R2-520	「GNSS 観測を用いた世界測地系の精度向上と我が国の解析能力強化に向けた調査」	(一財)日本宇宙フォーラム
S-R2-521	パーソナル情報の安全・安心活用のための技術開発の現状と課題解決に関する調査研究	(公財)未来工学研究所
S-R2-522	災害時の危機管理の在り方の検討～一般防災・原子力防災	(公社)科学技術国際交流セ

	のリスク評価の活用による連携	ンター
S-R2-523	持続可能社会に向けたエコテクノロジーと地方創成結合 キャラバンのカリキュラム策定	(一社)サステイナビリティ 技術設計機構

(上期 15 課題)

交付番号	調査研究課題名	申請者所属機関
S-R2-524	プレプリントサーバーを活用した未査読学術論文の公表 と活用：動向および認識の探索	京都大学
S-R2-525	熱電発電システムを用いた独立電源型センサーの実現性 に関する調査研究	工学院大学
S-R2-526	未利用バイオマスのマテリアル化／エネルギー化と技術 競合回避による効率的利活用	山口大学
S-R2-527	宇宙での哺乳類繁殖の可能性を探る研究動向調査	山梨大学
S-R2-528	ウイズコロナ社会後の人と機械の共生の在り方に関する 科学技術の発展動向	(公社)日本工学アカデミー
S-R2-529	米中のデカップリングによる中国の科学技術への影響と 日本の対応への示唆	(公財)ライフサイエンス振興 財団
S-R2-530	SDGs 達成に向けたデータベース構築のための大学等研究成 果の調査	(公財)全日本科学技術協会
S-R2-531	科学技術庁政策 65 年史—統合までの 45 年、統合後の 20 年の調査研究	(一財)総合科学研究機構
S-R2-532	生体三次元顕微鏡画像解析における情報科学研究者との 連携調査と学際人材の育成	(認定 NPO 法人)総合画像研 究支援
S-R2-533	センサーネットワークによる COVID-19 対策技術の現状 と展望に関する調査研究	(一社)科学技術と経済の会
S-R2-534	「政策形成における数理モデルの利用：新型コロナウイ ルス感染症への対応を事例として」	(公財)未来工学研究所
S-R2-535	世界から見た日本のサイバーセキュリティ人材育成を担 う、アカデミー機関の在り方	第三セクター・(株)横須賀テ レコムリサーチパーク

(下期 12 課題)

別表-3 科学技術国際交流の援助

交付番号	名称	態様	援助対象者
R2-64	第 31 回核融合技術シンポジウム	海外国際研究集会等への参加助成（オンラインによる参加）	弘前大学 大学院理工学研究科 理工学専攻 自然エネルギー学コース 教授 佐々木 一哉
M-R2-53	第 8 回アジア結晶成長結晶技術国際会議	国際研究集会等開催助成（オンラインによる開催）	アジア結晶成長および結晶技術学会

別表-4 科学技術振興のための普及・啓発の推進

交付番号	名称	態様	主催者、表彰者等
W-R2-81	科学技術調査研究助成課題成果報告会 （平成 30 年度下期課題） 開催日：令和 2 年 4 月 22 日（予定：緊急事態宣言発出期間中） 開催を予定していた平成 30 年度下期助成課題成果報告会は、コロナウイルスをとりまく状況にかんがみ開催を中止した。なお、令和 2 年 4 月に平成 30 年度下期助成課題「成果報告概要集」を従来通り発行した。	助成課題 成果報告	(一財)新技術振興渡辺記念会
W-R2-82	平成 31 年度(2019 年度)上期助成課題「成果報告概要集」の発行 平成 31 年度(2019 年度)上期助成課題「成果報告概要集」を令和 2 年 10 月に発行した。 なお、通常は開催する成果報告会は、コロナウイルスをとりまく状況にかんがみ開催を次年度に延期した。	助成課題 成果報告	(一財)新技術振興渡辺記念会
IP-R2-41	「技術経営・イノベーション」推進事業 ① 技術経営・イノベーションシンポジウム 開催日：令和 2 年 6 月 9 日 会 場：オンラインによる Web 開催	科学技術 推進事業 協賛	(一社)科学技術と経済の会

	<p>② 技術経営・イノベーション賞表彰 開催日：令和3年2月16日 会 場：如水会館及びオンライン Web 開催</p>		
IP-R2-42 ~43	<p>第45回井上春成賞 研究奨励金贈呈 (2件) 開催日：令和2年9月16日 会 場：国立研究開発法人 科学技術 振興機構</p>	研究者表 彰後援	<p>井上春成賞委員会 糸崎 秀夫 氏 (大阪大学 名誉教授) 福岡 淳 氏 (北海道大学 触媒科学研究所 教授)</p>
IP-R2-44	<p>第62回科学技術映像祭</p>	科学技術 推進事業 主催	<p>(公財)日本科学技術振興財団 (公社)映像文化製作者連盟、 (公財)つくば科学万博記念財団 (一財)新技術振興渡辺記念会</p>